

幼児教育の仕事

5月25日（木）に、生活文化科1年生28名と普通科・生活文化科2年生の希望者9名を対象に、進路講座を行いました。講師に中津川市立下野保育園の園長先生をお招きし、「幼児教育」の仕事についての理解を深めました。

「まわりの人々と共感する力」や「機敏な動き」「冷静な判断力」など保育士に必要な事をお話していただきました。また、子どもと関わる中での喜びや体験談など、具体的な話をしていただきました。大型絵本や、歌遊びなどもしていただき生徒も笑顔で参加することができ、充実した時間になりました。



【生徒の感想】

- 1番大切なのは、子どもの気持ちを考えることだけど、何でもやってあげるとするのはダメだということがわかりました。コミュニケーション力を付けること、ピアノを弾けるようになることが必要なので、短期大学に進んで学びたいと思った。
- 保育は子どもの命を預かっているのど、周りを見て、子どもの安全を確認できる力も大切だと思いました。
- 大きな声で話したり、楽しく歌ったりすることも保育士にとっては必要な事だと学びました。
- 子ども達の成長を間近で見ることができるので、できるようになった時の喜びが大きいということがすごく伝わってきました。
- 子どもにペースに合わせて生活をする事の大切さを学びました。また、保育の仕事は子どもに与えるばかりでなく、子どもに助けてもらうこともあり、生活の中で感謝の気持ちを伝えたりすることを大切にしていることも知りました。
- 中学生の時に職場体験に行かせていただいた園でした。保育士になるには、人と関わる事が大事で冷静な判断をすることが大切ということを知りました。
- ピアノを弾くのは苦手だけど、弾けるように頑張っていきたいです。

